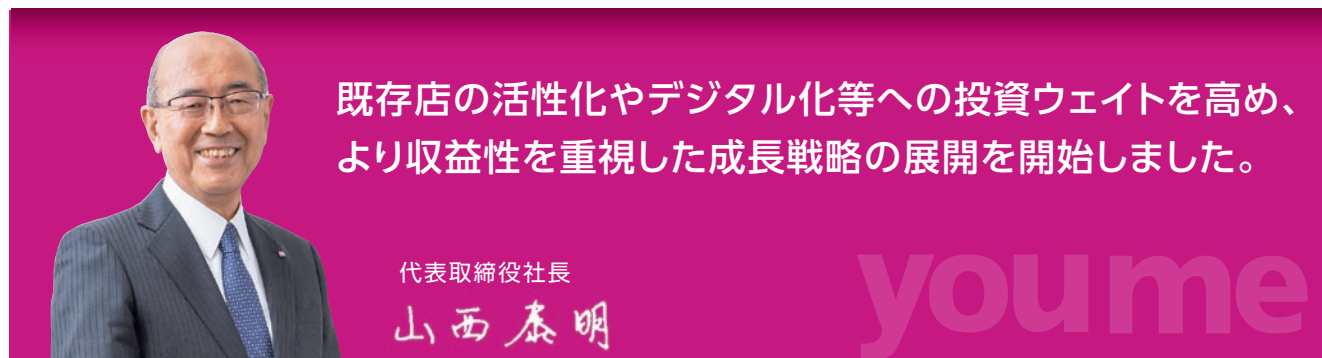


# 第59期 報告書

2019年3月1日 ▶ 2020年2月29日





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、米中の通商問題などに加え、新型コロナウイルスの影響により、世界経済の行方に不透明感が漂っています。家計においては、賃金や年金など将来への不安から節約ムードが強まるとともに、不要不急の消費を控える動きが強まりました。

このような状況の下、当社グループでは“日本一の高質リジョナル総合スーパー”を目指す「中期経営計画」を推進していますが、軟調な消費環境や人手不足、さらには建築コストの高騰等による新規出店の採算見通しの低下などをふまえ新規出店計画をやや抑制する一方で、これまで以上に収益性を重視した成長戦略の展開を開始しました。

中核事業である小売事業では、ますます両極化する消費動向に対応するよう、「いいものを安く」をMD戦略のキーワードとして品揃えの拡充と競争力の強化を図りました。また、デフレマインドの高まりに対して、購買頻度の高いコモディティを中心に価格対応することで集客の増加を図りました。

店舗面では、「ゆめタウン小野田」を閉店する一方「ゆめタウン福山」を開業するとともに、食品スーパー業態の「ゆめマート日田」「ゆめマート三田尻」「ゆめマート南小野田」「ゆめマート青山」の4店舗を開業しました。さらに既存店活性化として「ゆめタウン光の森」を増床、「ゆめタウン高松」をリニューアルオープンしました。

また、四国3県で食品スーパーマーケットを展開する株式会社

マルヨシセンターとの間で資本業務提携契約を締結しました。当社の大型ショッピングセンターによる広域商圈に加えマルヨシセンターの小商圈店舗網でカバーすることで、四国でのサービス向上とともに存在感がさらに高まると考えています。

小売周辺事業では、電子マネー「ゆめか」やショッピングクレジットの新規会員獲得や、入居テナントでの取扱い増加などにより、収益の拡大をはかりました。また、食品製造子会社の株式会社ゆめデリカにおいて「本社・深川第二工場(仮称)」を起工しました。来年度の稼働を目指しており、今後の店舗網拡大とローコストオペレーションに貢献するとともに、製品や製造工程の安全性及び雇用・労働問題等の課題にも対応した施設を目指しています。

今後、当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るとともに事業継続計画(BCP)の推進に努め、地域のライフラインとしての役割を果たしていくとともに、業績悪化リスクへの対応として在庫削減及びコスト削減を断行してまいります。そして、中長期の企業価値向上を展望して、新規の設備投資は抑制しつつ、M&A、人材育成及びデジタル化への投資を拡大することで、既存事業の生産性を向上させ、筋肉質な企業体質を構築してまいります。

これらにより、お客様の満足を実現するとともに、地域ドミナントの更なる拡大・深耕を図っていくことで、経営効率を高め、より一層の企業成長に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を  
地域になくしてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



### 連結財務ハイライト

営業収益	
7,443 億円	前年同期比 101.7%

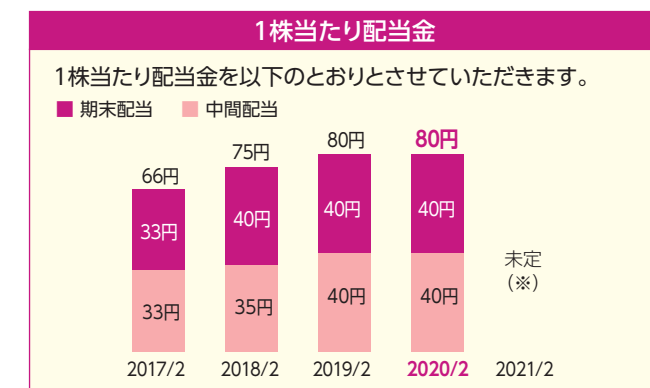
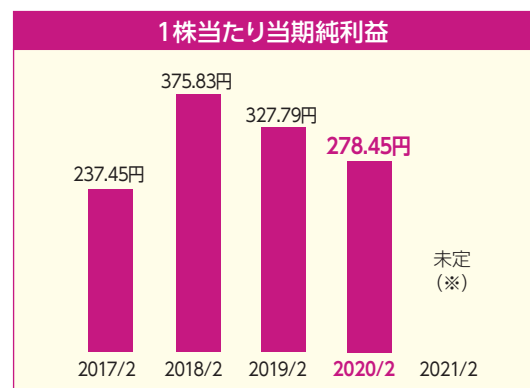
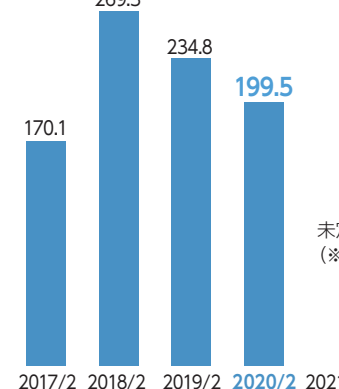
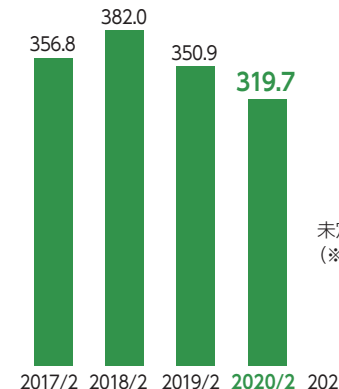
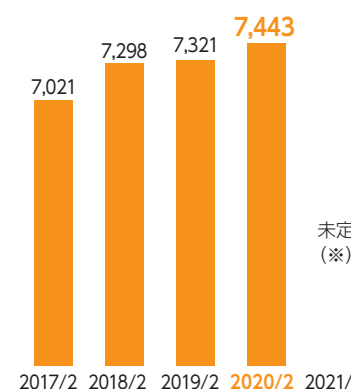
経常利益	
319.7 億円	前年同期比 91.1%

親会社株主に帰属する当期純利益	
199.5 億円	前年同期比 84.9%

(単位:億円)

(単位:億円)

(単位:億円)



※2021年2月期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大と収束見通しが先行き不透明な中、政府による緊急事態宣言と大型の経済対策に伴う影響を見通しづらい状況にあります。このような状況を踏まえ、現時点では、業績に影響を与える未確定要素が多数存在することから、業績予想を適正かつ合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。  
なお、今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 人々が集い、遊び、暮らす「街」

# ありがとう ゆめタウン 誕生30周年!

イズミの店舗戦略で主力業態である「ゆめタウン」が今年で誕生30周年を迎えます。「地域とともに成長したい」との願いを込めた「ゆめタウン」のコンセプトや特徴、その歩みをご紹介します。



### 「ゆめタウン」で「街」づくりを応援

「ゆめタウン」が誕生したのは1990年で、「ゆめタウン高梁」と「ゆめタウン東広島」がオープンしました。「ゆめタウン」のコンセプトは、地域の発展を願い、人が集い、遊び、暮らす「街」をつくること。この考え方のもとに「ゆめタウン東広島」では、広域商圈からの集客を可能にする1,300台収容の大駐車場をはじめ、3階の大部分を占めるアミューズメント空間、シースルーエレベーター、会員制のフィットネスクラブなどを実現しました。今は当たり前これらの取り組みも、当時としては斬新で、地元はもとより遠方からも多くのお客さまと注目を集めました。

ゆめタウンロゴマークの変遷

【1990年】  風船のように、夢がふくらむイメージ	【1995年】  you me townと文字のみを大胆に配置	【2015年～現在】  townを取って、よりシンプルなロゴに
---	--	--

### 地道に着実に店舗数を重ね、現在68店舗\*出店

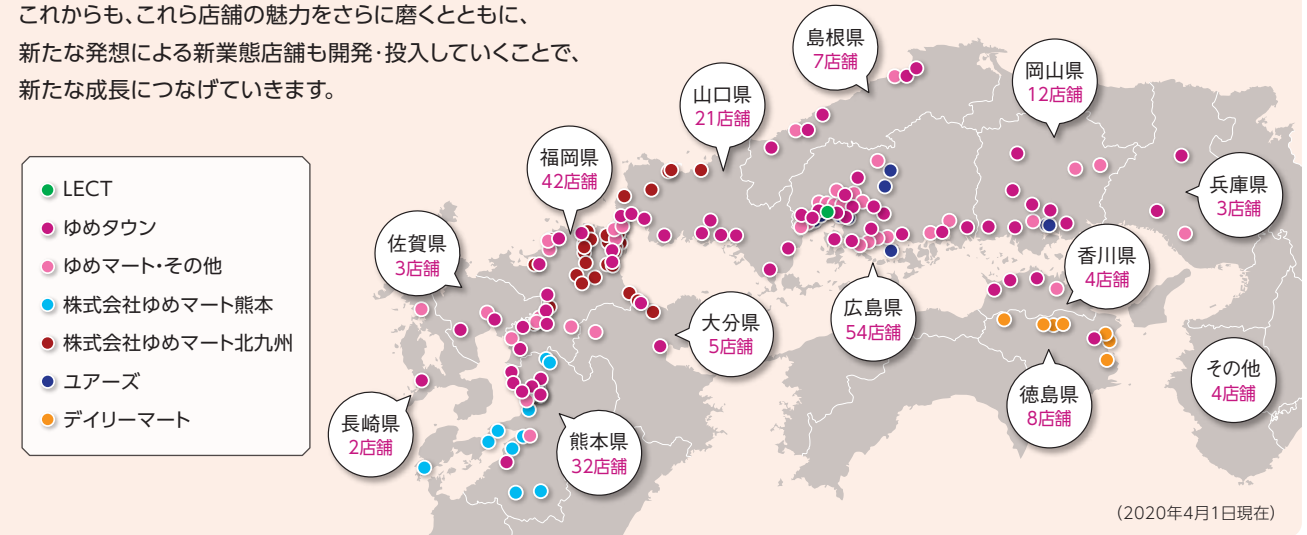
「ゆめタウン」はその後を着実に出店を続け、1994年までの4年間で中国地方に15店舗を出店、2000年までには31店舗に、地域も九州や四国へと広がり、各売場の魅力向上に努めるだけでなく、スポーツクラブや金融機関、病院などを併設することで公共性の高い街づくりを推進しました。出店数やエリア拡大だけでなく、地域とともに計画し、地域に根付いた運営を行い、地域一番店となるドミナント戦略を推進することで、全59店舗にまで成長することができました。

\*1990年以前のイズミ店舗も含む(2020年4月現在)

- 1990年** ゆめタウン東広島オープン
- 1995年** 九州へ進出。九州1号店 ゆめタウン遠賀
- 1998年** 西日本最大級\*の店舗 ゆめタウン高松誕生 \*1998年当時
- 2015年** イズミ史上最大の規模でゆめタウン廿日市誕生

### 西日本一円に緻密に張り巡らされたイズミのネットワーク

イズミは「日本一の高品質リージョナル総合スーパーを目指す」という目標を掲げ、主力業態である「ゆめタウン」「ゆめマート」を中心に、地域や商圈にあわせた業態での出店を続けています。これからも、これら店舗の魅力さをさらに磨くとともに、新たな発想による新業態店舗も開発・投入していくことで、新たな成長につなげていきます。



### 四国でのさらなるドミナント化推進を目指して マルヨシセンターと資本業務提携

イズミは四国でのドミナント化をさらに進めるために、2019年11月、(株)マルヨシセンターと資本業務提携契約を締結しました。マルヨシセンターは香川県、徳島県、愛媛県他で食を中心としたスーパーマーケットを展開しており、四国で広域集客型の大型店舗を主力とするイズミとは商圈の棲み分けもできている上、互いの経営資源を活用することで双方の競争力も増すと判断から、このたびの提携にいたしました。

- 業務提携の主な内容
- ◆ 商品仕入れの見直し(価格・取引先など)
  - ◆ 共同仕入れによるスケールメリットの拡充
  - ◆ 生鮮品を含む地場商品ルートの構築・原価低減
  - ◆ カード戦略の共有化(ポイント・電子マネー)
  - ◆ 物流・販促・資材購入等における協力
  - ◆ 惣菜商品の共同開発、製造の協力
  - ◆ 人事交流(従業員への教育研修、会議参加など)
  - ◆ 新規出店、店舗閉鎖にかかる協力
  - ◆ 生産性向上のための経営管理・店舗管理の手法



生活を「より豊かに・楽しく・便利に」進化し続けるブランド

## 「セブンプレミアム」の販売を開始しました。

イズミは、2020年3月2日より、「ゆめタウン」「ゆめマート」「LECT」をはじめグループ会社の各店舗において、セブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド『セブンプレミアム』『セブンプレミアム ゴールド』『セブンプレミアム ライフスタイル』『セブンカフェ』の販売を開始しました。

『セブンプレミアム』は、女性の社会進出や高齢化、エコへの関心、健康志向、安全安心など、品質と安全性において高いクオリティを追求した商品群です。

イズミは『セブンプレミアム』を導入することで、ますます多様化する生活ニーズにきめ細かく応えるための商品力をさらに強化し、他社との差別化を図りながら、あらゆるお客さまに満足していただける品揃えを実現していきます。



### 「セブンプレミアム」7つのプレミアム

1. 「安全・安心」…………… 厳選された原材料を衛生的な工場で製造。
2. 「おいしい」…………… みんなが「おいしい」と認めた味だけ。
3. 「地域の味」…………… 地元の味が、やっぱり一番。
4. 「最高の技術」…………… 優れた技術を持つメーカーと共同開発。
5. 「ユニバーサルデザイン」… 読みやすく、わかりやすい表示、デザイン。
6. 「健康応援」…………… 商品の前面にカロリー表示。
7. 「リーズナブル・プライス」… 毎日お求めやすいお値段で。



2020年3月2日(月) 広島店・高松店・博多店・光の森店にてセブンプレミアム商品のお披露目会を実施。



## ゆめタウン公式オンラインECサイト

## youme 「ゆめオンライン」OPEN!

online

デジタルマーケティング戦略の一環として、2020年3月31日から、ゆめタウン公式オンラインECサイト「ゆめオンライン」がスタートしました。「ゆめオンライン」の特徴は、使いやすさと品揃え。パソコンでもスマートフォンでも見やすく注文しやすいシンプルな構成で、日用品をはじめ、美容・健康関連品、ペット用品、文房具・オフィス用品など、「ゆめタウン」で人気の商品や定番商品を取り揃え、今後も順次拡大していく予定です。また、お中元やお歳暮、母の日・父の日などの季節のギフト用品も充実し、離れた人への贈り物にも最適です。

実店舗「ゆめタウン」とのシームレスな連携も魅力で、購入に応じて貯まるポイントは「ゆめか」に移行でき、実店舗でのお買い物にご利用できます。また、ネットで予約した商品を店舗で受け取ることも可能です。将来は、生鮮食品をご自宅までお届けする生鮮デリバリーサービスも計画中。ますます便利に成長する「ゆめオンライン」にご期待ください。



### 「ゆめタウン」と「ゆめオンライン」シームレスに連携

ゆめタウン 実店舗



ゆめオンライン ECサイト



youme

ゆめタウン店舗から商品を送るので安心! しかも最短 当日発送!



さらに、貯まったポイントでお得にお買い物! 店舗でもECサイトでも!

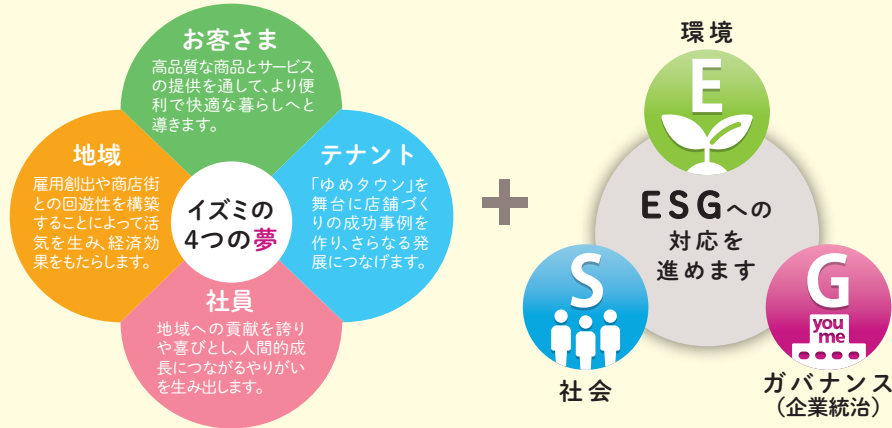




▶▶▶ 持続可能な社会の実現に向けて

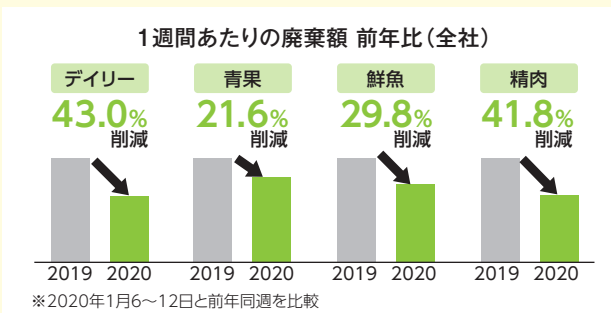
# ESGに関わる多様な取り組みをしています。

イズミグループは、お客さまはもちろん、地域、テナントさま、投資家のみなさま、従業員など、当社を取り巻く全てのみなさまと共に成長していくことこそ、私たちの使命だと考えています。これからも信頼され選ばれる企業であり続けるために、持続可能な社会の実現に向けて、多様な視点からESGの取り組みを進化させています。その代表的な取り組みをご紹介します。



## E 「見える化」で食品ロス削減

2019年4月から食品廃棄量を見える化し、従業員の意識を高めています。また消費期限の迫った見切り品を「売り切り平台」に集めて見える化することで、節約志向の高い消費者にアピールしています。このような多様な取り組みにより、食品ロスを削減しています。



## E 割り箸の素材を、木から竹へ

お弁当などでお客さまに配布する割り箸の素材を、2020年2月より、木から竹へ順次変更しています。竹は木よりも生長が早く、短いサイクルで伐採と製造が可能のため、環境への負荷が少ない素材です。

◎割り箸の素材変更効果(予測)

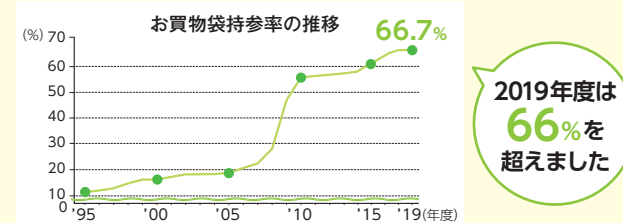
	年間数量	年間金額
木の割り箸	約2,380万本	2,810万円
竹の割り箸	約2,380万本	2,691万円

約119万円の削減を想定!



## E お買い物袋持参運動で、レジ袋を大幅削減

イズミでは1997年から各地の行政や市民団体と協力して、お買い物袋持参運動を行っています。そうした地道な活動が実り、2019年度では持参率66.7%を達成。レジ袋の削減を推進しています。



## S 各地で包括連携協定を締結

イズミでは行政との連携を大切に考えており、2011年に広島県との「包括連携協定」締結を皮切りに、熊本県や山口県、廿日市市や周南市、宗像市とも協定を締結。さらには広島大学とも包括連携協定を結び、社会貢献に努めています。



## S 女性管理職の登用を推進

「女性管理職20%」以上という目標に向けて、パートナー社員の主任登用や次期管理職候補者を対象にした女性リーダー育成研修などを積極的に行うことで、着実に女性管理職の登用を進めています。

役職名	1999年	2020年
女性管理職	9名	76名(11.1%)
女性バイヤー	14名	34名(39.5%)
女性主任比率	26%	46.4%(467名)

※女性主任はパートナー社員含む  
※2020年4月現在

## S 新型コロナウイルス感染防止への対策

イズミでは地域のお客さまと従業員の健康と安全を最優先に考え、営業時間の短縮をはじめ、店頭に消毒用アルコールを設置、従業員のマスク着用、お子さまの遊び場やお客さまが直接手を触れる場所は頻りにアルコール除菌消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています。



## G コンプライアンス研修を強化

法令を遵守し公正かつ適切な経営を行うために、コンプライアンス研修を強化しています。独占禁止法や下請法などを重要な研修プログラムとして採り入れることで、従業員一人ひとりの意識を高めています。



勉強会の様子

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

## 株式会社 ゆめマート熊本

お客様の生活を『豊かに』『快適に』『便利に』  
できるお店作りに取り組みます。

熊本県下に23店舗のスーパーマーケットを展開しており、お客様の生活を『豊かに』『快適に』『便利に』する、をキーワードに地域の食材やおいしい食品を、お届けできるよう取り組んでおります。最近では、子守唄で有名な五木村で約800年受け継がれてきた豆腐のみそ漬け『山うにと豆腐』の取り扱いを始め、地域のお客様に喜ばれております。引き続き、お客様に喜ばれる品揃え・鮮度・サービスを提供してまいります。



## 株式会社 ゆめデリカ

“商品の付加価値作り”を合言葉に  
だしの製法、味を抜本的に見直し、  
ブランド化を実施します。

イズミ惣菜事業部との製販一体の取組みの中で、“商品の付加価値作り”を合言葉に、惣菜に欠かせない“だし”の製法の抜本の見直しを実施いたします。“だし”の味はもちろん、定番のひじき煮、千切り大根煮からカツ丼のダシ、天つゆにいたるまで、お惣菜売場の顔となる商品に幅広く使用していくことで、他社との差別化、自社ブランド化を更にダイナミックに進めてまいります。



## 株式会社 ユアーズ

岡山駅南口1階に「ユアーズさんすて岡山店」を  
オープンしました。

2020年3月に、JR岡山駅南口「さんすて岡山西館」の改装にともない、2006年より南口2階にて営業しておりました「ユアーズ岡山駅店」を移転し、新規開業いたしました。同店舗は差別化と収益力を兼ね備えたモデル店と位置付けており、アバンセのノウハウも活用し、「健康」「即食・簡便」「地元」「こだわりの逸品」をテーマとした特微化も進めております。今後、既存店舗にも、こうした新しい取組を積極的に水平展開していきます。



## 株式会社 ゆめカード

イズミグループが提供するインターネット光回線『ゆめ光』サービス開始!

新規事業の柱として、NTT西日本が提供する光コラボレーションを利用し、新たなサービス「インターネット光回線『ゆめ光』」をスタートいたしました。

「安心・便利・お得」にご利用いただけるサービスをイズミグループとして提供いたします。当社は「決済インフラ」とともに、「インターネット光回線インフラ」を提供することで、ゆめタウンにご入店されるテナント様に円滑な店舗運営を支えてまいります。

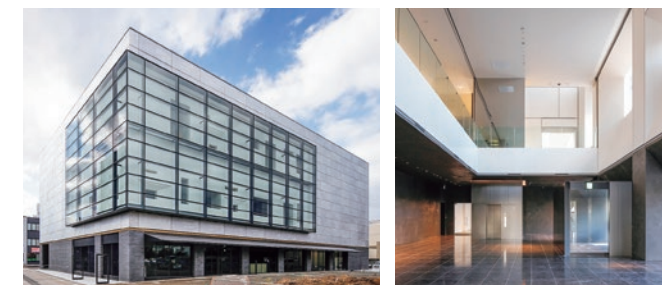


## 株式会社 イズミテクノ

今秋リニューアルオープンする東広島市立美術館の建築物としての魅力を紹介します。

現在、指定管理者としてオープンに向け準備を進めております。外観は、2～3階はアルミキャストで「白」を、1階はいぶし銀煉瓦で「黒」を基調としております。また、内観も1階は御影石を使って「黒」を、展示室を配置する2階以上は対比的に「白」を基調としております。直方体・長方形・直線でモノクロのコントラストを際立たせたデザインとなっております。

今秋の一般開館では、多くのお客様を笑顔でお迎えできることを楽しみにしております。



## イズミ・フード・サービス 株式会社

ミスタードーナツ(広島店・東広島店)を、  
次世代型店舗へ改装しました。

2020年3月に広島店、東広島店のミスタードーナツを次世代型店舗へ順次改装いたしました。当社初の試みとしてセミセルフレジを導入し、お客様の利便性を向上させるとともに、生産性の改善をはかってまいります。各店とも、改装後は多くのお客様にご利用いただき、売上も好調に推移しております。今後も、おいしい商品を快適な環境でご提供できるよう努めてまいります。



ゆめタウン広島店

ゆめタウン東広島店

## 業績ハイライト

営業収益  
7,443 億円  
前年同期比  
101.7%

経常利益  
319.7 億円  
前年同期比  
91.1%

親会社株主に帰属する当期純利益  
199.5 億円  
前年同期比  
84.9%

### 連結決算の推移

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期計画
営業収益	702,121	729,857	732,136	744,349	未定※
前期比	105.0%	104.0%	100.3%	101.7%	
営業利益	35,670	38,487	35,273	31,888	
前期比	111.8%	107.9%	91.7%	90.4%	
経常利益	35,688	38,208	35,099	31,979	
前期比	114.7%	107.1%	91.9%	91.1%	
親会社株主に帰属する当期純利益	17,015	26,932	23,488	19,953	
前期比	90.7%	158.3%	87.2%	84.9%	
総資産	476,885	479,867	484,876	490,106	
純資産	171,963	194,851	211,546	226,264	
1株当たり当期純利益	237.45円	375.83円	327.79円	278.45円	
1株当たり純資産	2,240.66円	2,553.14円	2,789.58円	2,991.24円	

### 単体決算の推移

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期計画
営業収益	648,030	683,850	686,991	700,142	未定※
前期比	106.4%	105.5%	100.5%	101.9%	
営業利益	30,222	32,017	29,141	26,026	
前期比	107.1%	105.9%	91.0%	89.3%	
経常利益	30,139	31,918	29,177	26,240	
前期比	110.2%	105.9%	91.4%	89.9%	
当期純利益	14,438	23,370	20,466	17,053	
前期比	81.1%	161.9%	87.6%	83.3%	
総資産	385,727	392,065	414,350	423,476	
純資産	133,406	151,834	166,105	177,249	
1株当たり配当金	66.00円	75.00円	80.00円	80.00円	

※2021年2月期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大と収束見通しが先行き不透明な中、政府による緊急事態宣言と大型の経済対策に伴う影響を見通しづらいつい状況にあります。このような状況を踏まえ、現時点では、業績に影響を与える未確定要素が多数存在することから、業績予想を適正かつ合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。なお、今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 連結財務諸表

### [連結]貸借対照表

単位:百万円

	前期 2019.2.28	当期 2020.2.29		前期 2019.2.28	当期 2020.2.29
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	92,164	98,302	流動負債	113,482	113,962
現金及び預金	8,136	8,982	支払手形及び買掛金	31,275	49,977
受取手形及び売掛金	39,784	46,392	短期借入金	25,746	2,000
商品及び製品	28,355	25,780	1年内返済予定の長期借入金	21,264	19,925
仕掛品	22	13	未払金	10,415	15,653
原材料及び貯蔵品	558	535	未払法人税等	4,777	5,089
その他	15,890	17,242	賞与引当金	2,132	2,206
貸倒引当金	△ 584	△ 644	役員賞与引当金	10	27
固定資産	392,711	391,804	ポイント引当金	2,558	2,695
有形固定資産	338,121	337,447	商品券回収損失引当金	166	81
建物及び構築物	393,145	399,826	資産除去債務	130	13
減価償却累計額	△ 230,168	△ 238,153	その他	15,005	16,291
建物及び構築物(純額)	162,976	161,672	固定負債	159,846	149,879
機械装置及び運搬具	9,445	10,062	長期借入金	115,912	106,991
減価償却累計額	△ 6,304	△ 6,683	リース債務	11	5
機械装置及び運搬具(純額)	3,141	3,379	長期預り敷金及び保証金	24,008	23,498
土地	162,745	163,240	役員退職慰労引当金	2,176	1,002
リース資産	382	117	利息返還損失引当金	102	114
減価償却累計額	△ 337	△ 106	退職給付に係る負債	8,050	8,514
リース資産(純額)	45	10	繰延税金負債	1,334	1,413
建設仮勘定	1,607	1,552	資産除去債務	7,914	8,099
その他	42,161	42,148	その他	336	237
減価償却累計額	△ 34,557	△ 34,556	負債合計	273,329	263,841
その他(純額)	7,604	7,591	(純資産の部)		
無形固定資産	12,177	11,479	株主資本	199,367	213,604
のれん	3,958	3,172	資本金	19,613	19,613
その他	8,219	8,307	資本剰余金	22,247	22,267
投資その他の資産	42,413	42,877	利益剰余金	157,530	171,751
投資有価証券	10,396	11,039	自己株式	△ 25	△ 27
長期貸付金	1,584	1,563	その他の包括利益累計額	529	741
繰延税金資産	8,271	8,326	その他有価証券評価差額金	737	753
敷金及び保証金	17,540	17,722	退職給付に係る調整累計額	△ 208	△ 12
その他	5,180	4,783	非支配株主持分	11,649	11,918
貸倒引当金	△ 559	△ 558	純資産合計	211,546	226,264
資産合計	484,876	490,106	負債純資産合計	484,876	490,106

総資産  
4,901 億円  
前期末比 ▶ 52億円増加

- ・当期の設備投資額は17,514百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で673百万円減少しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により6,608百万円増加しました。
- ・流動資産その他は、期末日が銀行休業日であったため、売上預け金が増加したこと等により1,351百万円増加しました。

負債  
2,638 億円  
前期末比 ▶ 94億円減少

- ・支払手形及び買掛金は、期末日が銀行休業日であったため、決済が翌月初に持ち越されたこと等により18,702百万円増加しました。
- ・未払金は、店舗新設に係る設備未払金の増加等により5,238百万円増加しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、34,005百万円減少しました。

純資産  
2,262 億円  
前期末比 ▶ 147億円増加

- ・利益剰余金は、内部留保の上積みにより14,220百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は43.7%となり、前期末の41.2%に比べて2.5ポイント上昇しました。

## 連結財務諸表

### [連結] 損益計算書

単位:百万円

	前期 2018.3.1~2019.2.28	当期 2019.3.1~2020.2.29
<b>営業収益</b>	<b>732,136</b>	<b>1</b> → <b>744,349</b>
売上高	697,679	709,455
売上原価	544,107	553,351
売上総利益	153,571	156,103
営業収入	34,457	34,893
営業総利益	188,028	190,997
販売費及び一般管理費	152,754	159,108
<b>営業利益</b>	<b>35,273</b>	<b>31,888</b>
営業外収益	1,518	1,484
受取利息及び配当金	258	250
仕入割引	299	291
持分法による投資利益	35	9
違約金収入	191	164
その他	734	768
営業外費用	1,692	1,393
支払利息	919	818
支払補償費	160	142
その他	613	433
<b>経常利益</b>	<b>35,099</b>	<b>2</b> → <b>31,979</b>
特別利益	1,480	669
固定資産売却益	55	329
補助金収入	1,112	310
保険金収入	309	—
その他	3	28
特別損失	3,085	2,803
固定資産売却損	27	21
固定資産除却損	313	333
減損損失	654	1,146
投資有価証券評価損	47	486
店舗閉鎖損失	—	419
建設計画変更損失	—	213
災害による損失	360	—
復興寄付金	450	—
出資金評価損	1,029	—
その他	201	183
税金等調整前当期純利益	33,495	29,845
法人税、住民税及び事業税	10,418	9,685
法人税等調整額	△ 523	△ 179
法人税等合計	9,894	9,505
当期純利益	23,600	20,339
非支配株主に帰属する当期純利益	111	385
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>23,488</b>	<b>3</b> → <b>19,953</b>

**1 営業収益** 7,443億円 前期比 ▶101.7%

営業収益のうち、売上高は前期比11,776百万円(1.7%)増加し、709,455百万円となりました。また、営業収入は前期比436百万円(1.3%)増加し、34,893百万円となりました。これは、主に当社における新設店舗の稼働及び増床・活性化店舗の販売増によるものです。売上総利益は、156,103百万円(前期比2,532百万円増)となりました。売上高対比では22.0%となり前期に比べて横ばいとなりました。

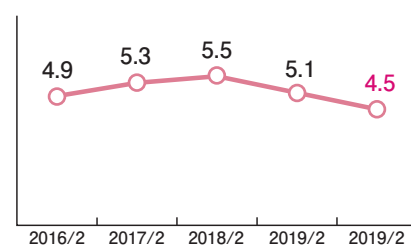
**2 経常利益** 319.7億円 前期比 ▶91.1%

営業外収益は、前期比34百万円(2.3%)減少の1,484百万円となりました。一方、営業外費用は、支払利息の減少等により前期比299百万円(17.7%)減少の1,393百万円となりました。これらの結果、経常利益は前期比3,120百万円(8.9%)減少の31,979百万円となりました。売上高対比は4.5%と前期に比べて0.5ポイント低下しました。

**3 親会社株主に帰属する当期純利益** 199.5億円 前期比 ▶84.9%

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比3,535百万円(15.1%)減少の19,953百万円となりました。売上高対比は2.8%と前期に比べて0.6ポイント低下しました。

■経常利益率の推移 (単位:%)



### [連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前期 2018.3.1~2019.2.28	当期 2019.3.1~2020.2.29
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	33,495	29,845
減価償却費	15,862	16,164
のれん償却額	822	785
固定資産除却損	313	333
減損損失	654	1,146
売上債権の増減額(△は増加)	△ 2,539	△ 6,570
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 519	2,560
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 3,373	18,708
法人税等の支払額	△ 13,887	△ 9,448
その他	2,813	4,154
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>33,642</b>	<b>57,681</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△ 17,378	△ 15,266
無形固定資産の取得による支出	△ 1,498	△ 1,330
その他	△ 224	△ 96
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 19,101</b>	<b>△ 16,693</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長短借入金の増減	△ 8,945	△ 34,305
自己株式の取得による支出	△ 6	△ 2
配当金の支払額	△ 5,732	△ 5,732
その他	△ 108	△ 101
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 14,793</b>	<b>△ 40,142</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 252	845
現金及び現金同等物の期首残高	8,389	8,136
現金及び現金同等物の期末残高	8,136	8,982

**営業活動によるキャッシュ・フロー** 576億円の収入

・主な収入項目は、税金等調整前当期純利益29,845百万円、減価償却費16,164百万円及び仕入債務の増加額18,708百万円です。  
・主な支出項目は、売上債権の増加額6,570百万円及び法人税等の支払額9,448百万円です。

**投資活動によるキャッシュ・フロー** 166億円の支出

・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出15,266百万円です。これは主に、店舗新設等によるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー** 401億円の支出

・主な収入項目は、長期借入れによる収入11,000百万円です。  
・主な支出項目は、短期借入金の減少額24,046百万円、長期借入金の返済による支出21,259百万円及び配当金の支払額5,732百万円です。

### [連結] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					その他の包括 利益累計額	非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計			
当期首残高	19,613	22,247	157,530	△ 25	199,367	529	11,649	211,546
当期変動額								
剰余金の配当			△ 5,732		△ 5,732			△ 5,732
親会社株主に帰属する当期純利益			19,953		19,953			19,953
自己株式の取得				△ 2	△ 2			△ 2
連結子会社株式の取得による持分の増減		19			19			19
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						211	269	480
当期変動額合計	—	19	14,220	△ 2	14,237	211	269	14,717
当期末残高	19,613	22,267	171,751	△ 27	213,604	741	11,918	226,264



## 単体財務諸表

### [単体] 貸借対照表

単位:百万円

(資産の部)	前期	当期	(負債の部)	前期	当期
	2019.2.28	2020.2.29		2019.2.28	2020.2.29
<b>流動資産</b>	<b>75,594</b>	<b>85,522</b>	<b>流動負債</b>	<b>103,395</b>	<b>105,897</b>
現金及び預金	3,386	4,386	買掛金	26,333	43,224
売掛金	13,055	13,933	短期借入金	34,040	14,840
商品	24,716	22,384	1年内返済予定の長期借入金	15,573	14,744
原材料及び貯蔵品	335	295	リース債務	3	3
前払費用	808	794	未払金	10,492	15,609
短期貸付金	28,229	38,519	未払費用	1,718	1,858
預け金	1,272	1,625	未払法人税等	3,855	3,693
その他	3,856	3,725	未払消費税等	1,932	2,107
貸倒引当金	△ 67	△ 142	前受金	1,516	1,512
<b>固定資産</b>	<b>338,756</b>	<b>337,953</b>	預り金	1,496	1,755
有形固定資産	287,474	286,757	賞与引当金	1,678	1,726
建物	140,756	139,528	役員賞与引当金	2	2
構築物	5,490	5,588	ポイント引当金	2,479	2,616
機械及び装置	2,525	2,775	商品券回収損失引当金	166	81
車両運搬具	0	0	資産除去債務	130	1
工具、器具及び備品	5,194	5,364	その他	1,973	2,119
土地	132,179	132,793	<b>固定負債</b>	<b>144,849</b>	<b>140,329</b>
リース資産	11	8	長期借入金	105,797	102,053
建設仮勘定	1,317	698	リース債務	9	5
無形固定資産	6,280	6,402	長期預り敷金及び保証金	23,031	22,574
借地権	4,232	4,332	退職給付引当金	6,646	7,305
ソフトウェア	1,256	1,337	役員退職慰労引当金	2,062	906
その他	792	732	資産除去債務	7,199	7,416
投資その他の資産	45,000	44,794	その他	101	67
投資有価証券	2,246	1,586	<b>負債合計</b>	<b>248,244</b>	<b>246,227</b>
関係会社株式	11,953	12,428			
出資金	4	4	(純資産の部)		
長期貸付金	1,437	1,417	株主資本	165,595	176,913
長期前払費用	525	699	資本金	19,613	19,613
繰延税金資産	6,669	6,788	資本剰余金	22,282	22,282
出店仮勘定	288	219	利益剰余金	123,724	135,045
敷金及び保証金	18,466	18,482	自己株式	△ 25	△ 27
その他	3,707	3,465	評価・換算差額等	510	335
貸倒引当金	△ 297	△ 297	純資産合計	166,105	177,249
<b>資産合計</b>	<b>414,350</b>	<b>423,476</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>414,350</b>	<b>423,476</b>

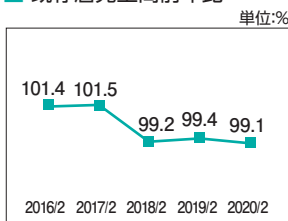
### 新規出店と閉店

期末店舗数	111店舗
新設	5店舗
閉店	6店舗

### 既存店売上高前年比

既存店売上高前年比	99.1%
客数前年比	98.5%
客単価前年比	100.6%

### 既存店売上高前年比



### [単体] 損益計算書

単位:百万円

	前期	当期
	2018.3.1~2019.2.28	2019.3.1~2020.2.29
<b>営業収益</b>	<b>686,991</b>	<b>700,142</b>
売上高	655,328	667,833
売上原価	532,522	541,520
売上総利益	122,806	126,313
営業収入	31,663	32,309
営業総利益	154,469	158,622
販売費及び一般管理費	125,328	132,596
<b>営業利益</b>	<b>29,141</b>	<b>26,026</b>
営業外収益	1,395	1,396
受取利息及び受取配当金	378	333
仕入割引	299	291
違約金収入	190	151
その他	526	619
営業外費用	1,358	1,181
支払利息	898	822
支払補償費	160	142
その他	300	216
<b>経常利益</b>	<b>29,177</b>	<b>26,240</b>
特別利益	1,371	105
固定資産売却益	39	0
投資有価証券売却益	-	31
補助金収入	1,112	73
保険金収入	220	-
特別損失	1,744	1,826
固定資産除却損	234	225
減損損失	254	585
投資有価証券評価損	-	387
店舗閉鎖損失	-	263
建設計画変更損失	-	213
災害損失及び復興寄付金	728	-
その他	527	151
税引前当期純利益	28,804	24,519
法人税等	8,338	7,465
<b>当期純利益</b>	<b>20,466</b>	<b>17,053</b>

### [単体] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計		
当期首残高	19,613	22,282	123,724	△ 25	165,595	510	166,105
当期変動額							
剰余金の配当			△ 5,732		△ 5,732		△ 5,732
当期純利益			17,053		17,053		17,053
特別償却準備金の取崩			-		-		-
固定資産圧縮積立金の取崩			-		-		-
自己株式の取得				△ 2	△ 2		△ 2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 174	△ 174
当期変動額合計	-	-	11,321	△ 2	11,318	△ 174	11,143
当期末残高	19,613	22,282	135,045	△ 27	176,913	335	177,249

### 営業収益

7,001 億円 前期比 101.9%

### 経常利益

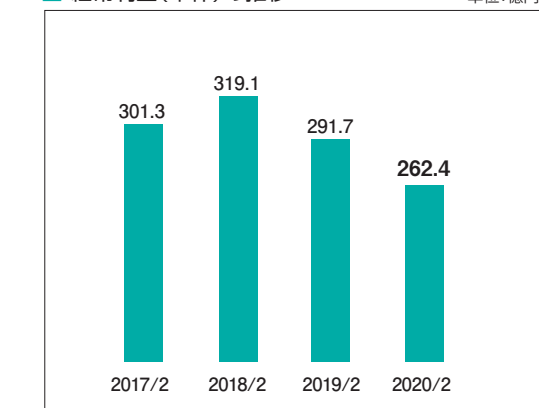
262.4 億円 前期比 89.9%

### 当期純利益

170.5 億円 前期比 83.3%

### 経常利益(単体)の推移

単位:億円



■ 会社概要

(2020年2月29日現在)

設立年月日 1961年10月27日  
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号  
 TEL 082-264-3211(代)  
 資本金 19,613,856,196円  
 従業員 正社員 2,878名  
 パートタイマー 6,438名(1日8時間換算)  
 店舗数 111店舗(エクセル単独店舗9店舗含む)

■ 中国地方 63店

広島県 32店 岡山県 10店  
 山口県 14店 島根県 7店

■ 九州地方 36店

福岡県 19店 佐賀県 3店  
 大分県 3店 長崎県 2店  
 熊本県 9店

■ その他 12店

香川県 4店 兵庫県 3店  
 徳島県 1店 その他 4店

■ 役員一覧

(2020年2月29日現在)

代表取締役社長 山西 泰明  
 専務取締役 梶原 雄一郎  
 専務取締役 三家本 達也  
 常務取締役 中村 豊三  
 取締役 本田 雅彦  
 取締役 似鳥 昭雄  
 取締役 米田 邦彦  
 常勤監査役 川本 邦昭  
 監査役 松原 治郎  
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況

(2020年2月29日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株  
 発行済株式の総数 71,658,190株  
 株主数 6,633名  
 1単元の株式数 100株

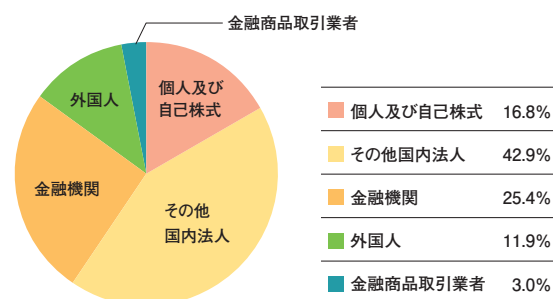
■ 大株主の状況

(2020年2月29日現在)

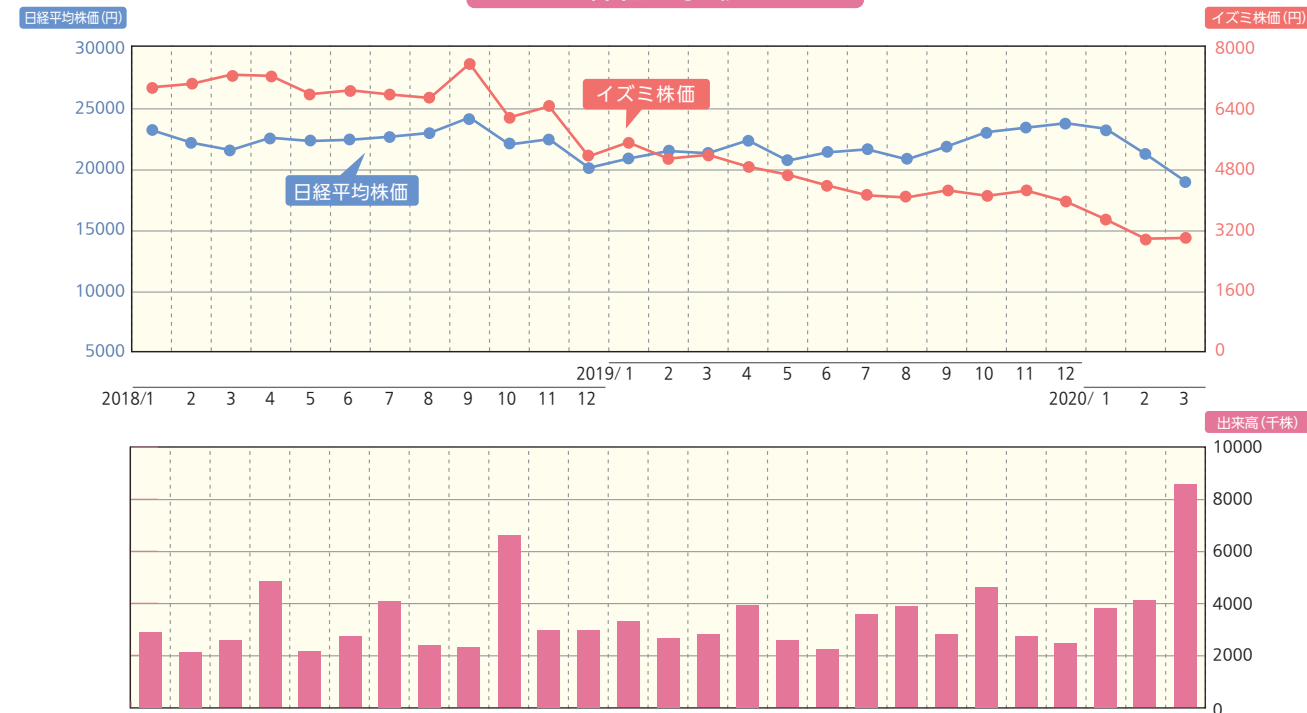
株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.8%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,211千株	4.5%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
イズミ広島共栄会	2,036千株	2.8%
山西 泰明	2,031千株	2.8%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,455千株	2.0%
全国共済農業協同組合連合会	1,375千株	1.9%

(注)持株比率は、自己株式(7,346株)を控除して計算しています。

■ 単元株式の所有状況



■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」が「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚(100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

■ 長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを[年1回]贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券 <sup>※1</sup>	ギフト券 <sup>※2</sup>
	現行制度に株主優待券をお選びの株主様	現行制度にギフト券をお選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デリーマート、岡山ロッツ、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

2020年2月29日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様にご招待券を贈呈させていただきます。

公益財団法人

**泉美術館**



- 開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(祝日は開館)、年末年始
- ※展示替えによる臨時休館あり
- 住所 〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号エクセル5階 TEL(082)276-2600
- ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>

■ 泉美術館 臨時休館のお知らせ

新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、3月8日(日)より臨時休館しております。今後の予定については、状況を踏まえて改めて泉美術館ホームページ等にてお知らせいたします。何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] (※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

[電話照会先] (※) ☎ 0120-782-031

(※)2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

### インターネットホームページアドレス

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

#### ■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

#### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

#### ■ マイナンバー制度に関するお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

##### 【株式関係事務におけるマイナンバーの利用目的】

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主様からお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要がございます。

##### ●証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

##### ●証券会社とのお取引がない株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(上記記載)までお問い合わせください。